

総合運動公園計画で既存施設の充実

町 必要最小限で既存施設の整備を行う

問 既存施設の中でも改善する施設があり、中央運動公園は、今年の実業団女子ソフトボール大会の選手・役員の方々からも指摘があった。特にトイレの充実を望む声が多かった。

「清潔なトイレにしてほしい」や「車椅子の方が、管理事務所の新しいトイレを案内

されたが、バリアフリーになつていなく利用するのに大変だった。「ベンチ内の空間を広く使えるように、後方にフックなどを取り付けると利用しやすいなどのアドバイスがあるが、対応は。

生涯学習課長 管理事務所のトイレは今年改修したが、バリアフリーではなかった。

早速指示し検討に入っている。ベンチ内のフック等も現施設をよく改修し使いやすくしていく。

今後のインバウンド事業は

町 東南アジアを主要ターゲットに

ている。当町として今後どのようなインバウンド事業を進めるのか。

観光商工課長 国内では外国人観光客が過去最高になったが、東京・大阪と

いったゴールデンルートが多い。那須町に何日も滞在するのは理想だが、広域的なルートで商品化をし、海外のプロモーションの他、国内外のエージェント・ラ

ンドオペレーターの方々と接触し那須の魅力を発信していく。東南アジアを主要ターゲットと置づけ、県や町の観光協会、インバウンド協議会と連携し、東北ルートの商品化を提案していきたい。



問 日本の人口は減少し、観光マーケットが縮小していく中、アジアの人口増加や日本の文化・自然・観光などに、一度は訪れたいと考えている外国の観光客が増え

ている。当町として今後どのようなインバウンド事業を進めるのか。



台北国際旅行博(那須町のPR)



バリアフリーが望まれる管理事務所